

何気ない毎日をきもちよく彩る、新しいお茶 「麒麟 生茶」「麒麟 生茶 ほうじ煎茶」リニューアル

麒麟ビバレッジ株式会社（社長 井上一弘）は、2026 年 3 月 10 日（火）より「麒麟 生茶」のパッケージと中味、「麒麟 生茶 ほうじ煎茶」のパッケージをリニューアルし、全国で発売します。

生茶ブランドは 2000 年の発売当初から、「今のお客様の生活にあったおいしいお茶」として新しいお茶の楽しみを提案し、多くのお客様に親しまれてきました。2024 年 4 月の大刷新以降、お客様の生活をもっと素敵に気持ちよくする提案を重ねた結果、従来の緑茶のイメージと対比し「センスがいい」「今っぽい」といった今までにない新しいお茶のイメージを獲得しています。また、生茶ブランドは 1 日の始まりや休憩時間などの気分を上げたいシーンで選ばれており、PET 緑茶の飲用シーンを広げていると推察します。※1

※1 麒麟調べ 2025 年 9 月 n=921（ブランド別飲用者ベース）

昨今、無糖茶カテゴリーは容量や価格重視の傾向が強まるなど、コモディティ化が一段と進行しています。生茶ブランドは今回のリニューアルで、「さわやかなきもちよさ」というお茶の新しい価値提案をさらに強化し、カテゴリーの魅力化を目指します。中味は、「生茶」の名前の由来でもある“生茶葉”※2 ならではのさわやかな香りに着目した新製法を採用しました。茶葉の自然なあまみとさわやかさが楽しめる、すっきりとした味わいです。パッケージデザインは、現代的で上品な佇まいをそのままに、さわやかな風を感じるグラデーションを取り入れ、きもちよさを表現しました。

※2 原料の一部で使用している「まる搾り生茶葉抽出物」のこと。茶葉を摘みながら 8 時間以内に芯まで凍結し、鮮度を保ったまま丸ごと搾っているため、清々しくすっきり爽やかな香りが特長。

生茶ブランドの一部容器では、再生 PET 樹脂を 100%使用した「R100 ペットボトル」やロールラベルの導入、ラベルレス商品の発売など、循環型社会に向けたプラスチック使用量削減に取り組んでいます。生茶ブランドは、お茶のあり方を革新し続けることで、今の時代を生きるお客様の毎日の生活を豊かにすることを目指します。

麒麟グループは、自然と人を見つめるものづくりで、「食と健康」の新たなよろこびを広げ、こころ豊かな社会の実現に貢献します。



まる搾り生茶葉抽出物 加熱処理

記

商品名	容量	容器	単位	価格	チャネル	発売日	発売地域
「麒麟 生茶」 「麒麟 生茶 ほうじ煎茶」	280ml	ペットボトル	1本	175円	—	2026年 3月10日（火）	全国
	525ml	ペットボトル	1本	200円	—		
	600ml	ペットボトル	1本	200円	コンビニエンスストア限定		
	525ml	ペットボトル (ラベルレス)	1ケース (24本入り)	4,800円	EC限定		
「麒麟 生茶」のみ	300ml	ペットボトル	1本	175円	—		
	555ml	ペットボトル	1本	187円	自動販売機限定		
	2L	ペットボトル	1本	460円	—		
	2L	ペットボトル	1ケース (9本入り)	4,140円	EC限定		
	2L	ペットボトル (ラベルレス)	1ケース (9本入り)	4,140円	EC限定		

※価格は消費税抜き希望小売価格

以上

（お客様お問い合わせ先）

麒麟ホールディングス株式会社 キリンビバレッジお客様相談室

（フリーダイヤル）0120-595-955

企業情報 Web サイト <https://www.kirinholdings.com/>

商品・サービス情報 Web サイト <https://www.kirin.co.jp/>